

## 第2 各総室の事業概要（平成29年度実績）

### 1 保健総室【五所川原保健所】

#### 1-1 指導予防課関係業務

##### 1-1-1 衛生教育

日常の暮らしの中での健康増進や生活衛生、子育て問題等について、各種研修会の場などを利用して、地域住民に広く保健衛生思想の普及向上を図るための衛生教育を実施した。

平成29年度は49回実施し、延べ参加人員は2,609人である。

(単位：人)

教育内容	実施回数	延参加人数
感染症 (結核・エイズを除く)	1	40
結核	2	101
精神	1	124
難病		
母子		
成人・老人		
栄養・健康増進	21	1,242
医事・薬事	4	216
食品	17	760
環境	2	56
その他	1	70
合計	49	2,609

## 1-1-2 医療及び薬事関係

### (1) 医療施設等の状況

#### (1)-1 医療施設等数

平成29年度末の病院及び歯科診療所は、平成28年度末と同数であり、有床・無床一般診療所は、1施設ずつ増床した。また、施術所の施設数は各1施設減少した。

病院及び診療所の病床数については、病院では増減なし、診療所で4床増であった。

(平成30年3月31日現在)(単位：施設(箇所)、病床数(床))

区分	総数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
病院	8	6	1	1			
病床数	1,369	1,004	265	100			
一般	610	510		100			
精神	164	164					
結核							
感染症	4	4					
療養	591	326	265				
診療所無床	77	42	11	4	4	6	10
診療所有床	7	4	1	1	1		
病床数	90	62	4	19	5		
一般	90	62	4	19	5		
療養							
歯科診療所	45	24	9	3	2	3	4
助産所							
施術所	90	47	20	6	7	6	4
歯科技工所	14	9	3	1		1	
衛生検査所	1	1					
介護老人保健施設	6	2	1	1	1	1	

#### (1)-2 主な保健医療従事者数

「医科・歯科医師・薬剤師調査」及び「衛生行政報告例」によれば、管内の主な保健医療従事者の状況は、次のとおりである。

(平成28年12月末現在)(単位：人)

区分	総数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
医師	167	127	13	11	3	7	6
歯科医師	59	33	13	5	1	2	5
薬剤師	153	123	17	6	2	3	2
保健師	84	36	20	6	8	8	6
助産師	20	18		2			
看護師	772	582	69	60	22	26	13
准看護師	498	301	98	27	15	26	31
歯科衛生士	58	39	4	7	1	3	4
歯科技工士	41	27	5	3	1	4	1

※ 保健師、助産師、看護師及び准看護師のデータは医療薬務課より聴取

## (2) 医薬品販売業者等数

平成 29 年度末現在、卸売販売業、調剤業務を行う薬局及び一般用医薬品を販売する店舗販売業は、合わせて 4 施設増えたが、配置販売業は 4 施設減となり、医薬品販売業全体では増減なしであった。

また、コンタクトレンズや血糖測定器等の高度管理医療機器等を取り扱う営業所及び補聴器等の管理医療機器を取り扱う営業所は、3 施設増であった。

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区 分	総 数	五所川原市	つがる市	鱒ヶ沢町	深浦町	鶴田町	中泊町
薬 局	60	43	7	2	3	3	2
卸 売 販 売 業	9	7	1	1			
店 舗 販 売 業	39	16	7	3	3	4	6
配 置 販 売 業	8	5	3				
配 置 従 事 者	31	18	10	2		1	
特 例 販 売 業							
一 般							
医 療 機 器 修 理 業	1	1					
高 度 管 理 医 療 機 器 等	54	40	8	2	2	2	
販 売 業	39	29	5	2	2	1	
貸 与 業							
販 売 業 ・ 貸 与 業	15	11	3			1	
管 理 医 療 機 器	223	107	58	15	12	13	18
販 売 業	205	94	55	14	12	13	17
貸 与 業							
販 売 業 ・ 貸 与 業	18	13	3	1			1
毒 物 劇 物 販 売 業	89	36	20	8	5	6	14
一 般	27	21	3		1	1	1
農 業 用 品 目	58	12	17	7	4	5	13
特 定 品 目	4	3		1			
麻 薬 卸 売 業	1	1					
麻 薬 小 売 業	52	37	7	2	2	3	1
医 薬 品 製 造 業	1	1					
医 薬 品 製 造 販 売 業	1	1					
医 療 機 器 製 造 業	1	1					
薬 局 医 薬 品 製 造 業	3	3					
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業	3	3					

### (3) 医療監視の状況

病院及び診療所等が、医療法その他の法令に規定された適正な管理運営がされているかどうか検査することにより、地域住民に適切な医療等が提供されることを目的に実施している。

(単位：実施数(件)、実施率(%))

年 度	29		28		27	
区分	対象施設	実 施 数	対象施設	実 施 数	対象施設	実 施 数
		実 施 率		実 施 率		実 施 率
病 院	8	8	8	8	8	8
		100.0		100.0		100.0
一般診療所	84	32	82	31	84	29
		38.1		37.8		34.5
歯科診療所	45	17	45	14	45	13
		37.8		31.1		28.9
助産所	1	1				
		100.0				
施 術 所	90	9	92	14	92	10
		10.0		15.2		10.9
歯科技工所	14		14		15	1
						6.7

#### (4) 薬事監視の状況

薬局及び医薬品販売業者等が、関係法令を遵守し、医薬品等の適正な管理がされているかどうか監視・指導を行い、消費者が安心して医薬品を購入できる体制の確保に努めている。また、麻薬取扱施設に対しては、麻薬及び向精神薬取締法に基づく適正使用や保管管理について監視・指導している。

(単位：実施数(件)、実施率(%))

年 度	29		28		27	
実施率等 区分	対象施設	実施数 実施率	対象施設	実施数 実施率	対象施設	実施数 実施率
薬 局	60	41 68.3	59	29 49.1	61	36 59.0
卸 売 販 売 業	9	5 55.5	8	7 87.5	8	2 25.0
店 舗 販 売 業	39	16 41.0	37	22 59.5	35	23 65.7
配 置 販 売 業	8	3 37.5	12		12	
特 例 販 売 業				1	1	
医 療 機 器 修 理 業	1		1		1	
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業	39	24 61.5	38	20 52.6	37	22 59.5
高 度 管 理 医 療 機 器 等 販 売 業 ・ 貸 与 業	15	3 20.0	15	10 66.7	16	3 18.8
管 理 医 療 機 器 販 売 業	205	2 0.9	201	6 3.0	216	42 19.4
管 理 医 療 機 器 販 売 業 貸 与 業	18		20		13	
医 薬 品 製 造 業	1		1		1	
医 薬 品 製 造 販 売 業	1		1		1	
医 療 機 器 製 造 業			1		1	
薬 局 医 薬 品 製 造 業	3	2 66.6	3	3 100	3	
薬 局 医 薬 品 製 造 販 売 業	3	2 66.6	3	3 100	3	
毒 物 劇 物 販 売 業	89	42 47.1	89	57 64.1	92	39 42.4
麻 薬 取 扱 施 設	96	61 63.5	98	54 55.1	99	61 61.6

(5) 不正大麻・けしの抜去状況

毎年6月から9月まで実施される「不正大麻・けし撲滅運動」の期間中に実施し、管内市町を巡回の上、発見した際は除去している。

(単位：箇所/本)

区分		年度		
		29	28	27
大麻	管内			
	県	120/106,523	120/117,122	138/373,622
けし	管内	14/1,480	43/3,485	116/12,409
	県	58/5,079	110/8,319	221/18,930

(6) 薬物乱用防止に関する研修会

薬物乱用の防止を図るため地域に密着した啓発活動等が行われることを目的として、研修会を実施している。

年月日	実施場所	対象及び人数
平成29年5月18日	青森県立中里高校	高校生46名、教職員8名
平成29年7月13日	五所川原市中央公民館	薬物乱用防止指導員34名
平成29年7月19日	つがる市立稲垣中学校	中学生103名、教職員7名
平成29年9月19日	中泊町立小泊中学校	中学生16名、教職員2名

(7) 移動採血車及び出張採血による献血状況

「県内の医療機関で必要な血液はすべて県民の善意の献血で確保する」を基本理念に、地域住民の理解を求め、血液センターの移動採血車等が職域等に出向き、献血者の協力を得て確保に努めている。

・平成29年度献血実績(献血バス分)

(平成30年3月31日現在)

区分	全血献血				
	200ml (人)	400ml (人)	目標量 (L)	確保量 (L)	達成率 (%)
市町村					
五所川原市	75	841	425.0	351.4	82.7
つがる市	9	873	323.0	351.0	108.7
鱒ヶ沢町		113	51.0	45.2	88.6
深浦町		61	34.0	24.4	71.8
中泊町	4	96	51.0	39.2	76.9
鶴田町	2	142	85.0	57.2	67.3
管内(計)	90	2,126	969.0	868.4	89.6
青森県	1,052	24,030	10,047.0	9,882.4	97.8

※成分献血については、平成21年度より献血バスが廃止。

#### (8) 西北五地域災害医療対策協議会

災害時において関係機関が連携して地域医療を確保するため、二次保健医療圏ごとに地域災害医療対策協議会を設置し、災害時の連携体制構築に向けた協議を行うとともに、日頃から顔の見える関係を築くことを目的とするものである。

会議名	平成29年度西北五地域災害医療対策協議会
開催年月日	平成30年3月15日(木)
場 所	プラザマリュウ五所川原 (五所川原市雛田181-2)
参集者	協議会委員28名、事務局7名
実施状況	(1) 大規模災害発生時の健康福祉部の体制見直しについて (2) 平成29年度災害対策本部健康福祉部図上訓練について (3) 青森県総合防災訓練(多数傷病者受入訓練)について

### 1-1-3 感染症予防関係

#### (1) エイズ予防関係

保健所に相談窓口を開設し、エイズ及び性感染症のまん延防止を図るため、無料・匿名での血液検査を月1回実施している。なお、平成24年7月から夜間即日検査を導入した。

(単位：件)

区分 年度	血液検査		相 談					
	採血件数		相談件数		内 訳			
	男	女	男	女	電 話		来 所	
					男	女	男	女
29	34	9	11	5	11	5		
28	25	7	9	3	9	3		
27	28	11	11	3	11	3		

#### (2) 肝炎ウイルス相談・検査事業

保健所に相談窓口を開設し、C型肝炎ウイルス及びB型肝炎ウイルス感染者の早期発見、早期治療を図り肝硬変や肝がん等への進行を予防することを目的に相談や血液無料検査を実施している。

(単位：件)

区分 年度	血液検査		相 談			
	採血件数		相談件数	内 訳		
	男	女		電 話	来 所	
29		1	3	1	2	
28		1	1	1		
27	2		4	3	1	

#### (3) 肝炎治療特別推進事業

C型肝炎ウイルス性肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療及びインターフェロンフリー治療並びにB型肝炎ウイルス性肝炎に対して行われるインターフェロン治療及び核酸アナログ治療に要する医療費の一部を助成する事業であり、保健所が申請受理を行っている。

(単位：件)

	インターフェロン フリー治療	インターフェロン治療		核酸アナログ製剤 治療（更新含）
		C型	B型	
平成29年度	77			76
平成28年度	92			70



#### (4) 感染症発生状況

平成 29 年は二類～五類感染症(全数把握)の発生が計 31 件あった。このうち、三類感染症、四類感染症については、感染源や感染経路の調査、感染予防のための実地指導を行った。

また、インフルエンザ等が集団発生した際には、まん延防止に係る指導等を行った。

(単位：件)

年	区分	一類感染症	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症 (全数把握)
29			23 〔結核 23〕		5 〔レジオネラ症 3 E型肝炎 1 つつが虫病 1〕	3 〔梅毒 3〕
28			19 〔結核 19〕	1 〔腸管出血性大腸菌感染症 1〕	3 〔レジオネラ症 2 E型肝炎 1〕	2 〔梅毒 1 クロイツフェルト・ヤコブ病 1〕
27			17 〔結核 17〕	1 〔腸管出血性大腸菌感染症 1〕	2 〔レジオネラ症 1 E型肝炎 1〕	2 〔破傷風 1 アメーバ赤痢 1〕

#### 【集団発生状況】

(単位：施設)

年度	区分	五類感染症（定点報告疾患）			備考
		感染性胃腸炎	インフルエンザ	その他	
29		3	41	2 (A群B溶血連鎖球菌感染症、RSウイルス)	
28		2	19		
27		8	9	1 (手足口病)	

## 1-1-4 結核予防関係

### (1) 結核患者登録状況(市町別・活動性分類、年齢別)

平成 29 年中の管内の新登録患者は 23 人で前年より 4 人増加し、平成 29 年末の全登録患者総数は 55 人で前年末より 8 人減少した。新登録患者のうち 65 歳以上の患者は、約 7 割を超えている。

結核の早期発見、早期治療のため、接触者健康診断及び管理検診を推進するとともに、結核に関する知識の普及啓発等を積極的に行っている。

#### (1)-1-1 新登録患者数 市町別・活動性分類

(平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日) (単位：人)

区分 市町名	総数	活動性結核						肺外結核 活動性	潜在性 結核感 染症 (別 掲)	
		性別		肺結核						
		男	女	喀痰塗抹陽性		その他 の結核 菌陽性	菌陰性 その他			
			初回治療	再治療						
五所川原市	11	8	3	3		3	1	4	12	
つがる市	5	4	1	1		3	1		1	
鱒ヶ沢町									1	
深浦町	1		1					1	1	
鶴田町	2		2	1			1		1	
中泊町	4	3	1	1		1	1	1	2	
年	29	23	15	8	6		7	4	6	18
	28	19	12	7	8		5	1	5	11
	27	17	9	8	9	1	3		4	5

#### (1)-1-2 新登録患者数 年齢別

(平成 29 年 1 月 1 日～12 月 31 日) (単位：人)

年齢階級 市町名	合計	年齢										潜在性 結核感 染症 (別 掲)
		0～ 9	10 ～ 19	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70～ 79	80～ 89	90～	
五所川原市	11(3)		1		1(1)		1	2	3(1)	2(1)	1	12
つがる市	5(1)							1		2	2(1)	1
鱒ヶ沢町												1
深浦町	1										1	1
鶴田町	2(1)						1			1(1)		1
中泊町	4(1)					2				2(1)		2
年	29	23(6)	1		1(1)	2	2	3	3(1)	7(3)	4(1)	18
	28	19(8)				1(1)	3(1)	4(1)	1	9(5)	1	11
	27	17(10)			2(2)	1		1(1)	6(3)	7(4)		5

65 歳以上は 17 人 (73.9%) であった。

( ) 内は喀痰塗抹陽性を再掲。

(1) - 2 - 1 全登録患者数 市町別・活動性分類

(平成 29 年 12 月 31 日現在) (単位：人)

区分 市町名	総数	性別		活動性結核					不活動性結核	活動性不明	潜在性結核感染症 (別掲)		
				肺結核活動性			肺外結核活動性						
		登録時喀痰塗沫陽性		登録時 その他の 菌陽性	登録時 菌陰性 その他								
		初回治療	再治療			治療中	観察中						
五所川原市	28	20	8	2		1	1	1	12	11	6	15	
つがる市	16	8	8			1	1		5	9		10	
鱒ヶ沢町	3	2	1							3	1		
深浦町											1		
鶴田町	4		4				1		2	1		3	
中泊町	4	3	1					1	1	2		3	
年	29	55	33	22	2		2	3	2	20	26	8	31
	28	63	39	24	7		4	1	4	16	31	5	41
	27	48	28	20	4				2	36	6	1	35

(1) - 2 - 2 全登録患者数 年齢別

(平成 29 年 12 月 31 日現在) (単位：人)

年齢階級 市町名	合計	0 ~ 9	10 ~ 19	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80~ 89	90~	潜在性結核感染症 (別掲)		
												治療中	観察中	
五所川原市	28(1)		1			1	3	5	5 (1)	10	3	6	15	
つがる市	16					2	4	2	2	5	1		10	
鱒ヶ沢町	3				1			2				1		
深浦町												1		
鶴田町	4						1	1		2			3	
中泊町	4					2			1	1			3	
年	29	55(1)		1		1	5	8	10	8 (1)	18	4	8	31
	28	63(10)				1	4(2)	9	11(1)	12(2)	22(5)	4	5	41
	27	48(4)				2	2	6	8(1)	12(1)	15(2)	3	1	35

65 歳以上は 38 人 (69.01%) であった。 ( ) 内は、登録時喀痰陽性を再掲。

## (2) 結核患者罹患率及び有病率

(平成 29 年 12 月 31 日現在)

区分 市町名		人口	新登録患者数 (人口 10 万対)	罹患率	活動性登録患者数 (人口 10 万対)	有病率
五所川原市		53, 565	11	20.5	5	9.3
つがる市		32, 177	5	15.5	2	6.2
鱒ヶ沢町		9, 646				
深浦町		7, 960	1	12.6		
鶴田町		13, 019	2	15.4	1	7.7
中泊町		10, 679	4	37.5	1	9.4
管内 合計	平成 29 年	127, 046	23	18.1	9	7.1
	平成 28 年	129, 358	19	14.7	16	12.4
	平成 27 年	131, 656	17	12.9	6	4.6
平成 28 年 青森県		1, 293, 619	171	13.2	107	8.3
平成 28 年 全国		126, 933, 000	17, 625	13.9	17, 625	9.2

(人口：平成 29 年 10 月 1 日推定)

## (3) 結核診査協議会の診査状況

(単位：件)

年度	感染症法	申 請	決定・承認	その他	その他の内訳
平成 29 年度	第 37 条	42	42		
	第 37 条の 2	45	45		
平成 28 年度	第 37 条	38	38		
	第 37 条の 2	42	42		
平成 27 年度	第 37 条	48	48		
	第 37 条の 2	42	42		

注 第 37 条…入院勧告を受けた患者、第 37 条の 2…入院勧告以外の患者

## (4) 接触者健康診断及び管理検診実施数

(単位：件)

		接触者健診				管理検診				
		合計	保健所 実施	委託医 療機関	他の受診 を確認で きたもの	合計	保健所 実施	定期病 状調査	委託医 療機関	他の受診 を確認で きたもの
年 度	29	156	119	32	5	67	48	15	4	
	28	385	243	142	2	43	33	10		
	27	200	166	2	32	82	46	23	13	
ツ反		2		2						
IGRA		93	90		3					
胸部エックス線		52	29	22		43	33	10		
被 発 見	結核患者									
	潜在性結核感染症	18	18							

## (5) 訪問指導状況等

訪問指導等により、新登録患者や登録患者への療養指導、接触者への感染予防、発病予防の指導、正しい知識の提供、不安の軽減等を行っている。

平成 29 年度は、訪問：33 件（延べ 112 件）、相談：電話延べ 44 件、来所延べ 34 件であった。

## (6) 結核対策特別促進事業実施状況

## ア 特別対策促進事業

## (ア) 院内DOTS

患者及び家族に対して結核の正しい知識を提供し、早期から不安の軽減と治療への動機づけを図った。(対象 8 件)

## (イ) 地域DOTS

服薬中断リスクやニーズに応じた服薬支援を、患者及びその家族、関係機関と連携しながら実施した。訪問 18 件（延べ 57 件）、薬局DOTS含むメールや電話は延べ 178 件、来所は延べ 28 件であった。

## (7) 市町長が行う結核定期健康診断及びBCG接種状況

(単位：人)

区分 市町名		胸部エックス線検査			精密検査				被発見		BCG		
		対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)%	対象者 (C)	受診者 (D)	受診率 (D/C)%	菌 検 査	結核	発病 恐れ あり	対象者 (E)	受診者 (F)	受診率 (F/E)%
五所川原市		17,682	3,488	20.6	100	63	63.0		1		289	308	106.6
つがる市		11,201	3,753	33.5							188	184	97.9
鱒ヶ沢町		4,099	848	20.7	19	16	84.2				41	541	131.7
深浦町		3,878	964	24.9	23	21	91.3				29	25	86.2
鶴田町		4,663	1,814	38.9							65	67	103.1
中泊町		3,215	1,336	41.6	25	25	100.0				55	46	83.6
年度	29	44,738	12,203	27.3	203	167	82.2				667	684	102.5
	28	39,524	12,250	31.0	203	156	76.8				709	686	96.8
	27	38,273	12,056	31.5	201	74	36.8				757	700	92.5

注1 B欄には間接撮影を省略し直接撮影のみ実施した者を含む。

## (8) 事業所の長等が行う結核定期健康診断

(単位：人)

区分 事業所等		胸部エックス線検査			精密検査				指導区分		
		対象者 (A)	受診者 (B)	受診率 (B/A)%	対象者 (C)	受診者 (D)	受診率 (D/C)%	菌 検 査	要 医療	要 観察	
事業者		5,475	5,212	95.2	58	40	69.0				
学校 長	高校	1,138	1,135	99.8	12	12	100.0				
	その他	142	142	100.0							
施設長		1,455	1,405	96.6	91	70	76.9				
年度	29	8,210	7,894	96.2	161	122	75.8				
	28	8,312	8,157	98.1	158	140	88.6	5	1		
	27	10,431	9,277	88.9	128	112	87.5				

注1 B欄には間接撮影を省略して直接撮影のみ実施した者を含む。

### 1-1-5 健康危機管理関係

「青森県健康危機対策実施要綱」及び「西北地域県民局健康危機管理手引書」に基づき、関係機関が開催する連絡会議等へ出席した。また、健康危機発生に備えた平常時からの準備として、当保健所職員を対象とした職場研修を企画し、PPE（個人防護具）の着脱訓練を行った。

#### 健康危機管理に係る会議・研修会等

開催年月日	場 所	内 容
平成29年4月26日	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	「平成29年度西北地域重要家畜伝染病情報連絡会議」出席
平成29年7月4日 7月5日 7月6日	五所川原保健所	感染予防策の基本 PPE着脱訓練 受講者：保健所職員27名
平成29年10月19日	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	「平成29年度西北地域重要家畜伝染病情報連絡会議」出席

### 1-1-6 新型インフルエンザ関係

青森県では、各地域（医療圏）における新型インフルエンザ対策の充実を図る目的で保健所を事務局として「地域新型インフルエンザ対策協議会」が設置され、地域における医療提供体制の検討・協議を行うこととされている。このため、当保健所では西北地域新型インフルエンザ対策協議会を開催し、新型インフルエンザ発生時における医療提供体制や課題について意見交換を行った。

西北地域新型インフルエンザ対策協議会		
開催年月日	場 所	内 容
平成 29 年 9 月 11 日	プラザマリユウ 五所川原	協議事項 ① 新型インフルエンザ等の概要と本県の対策 ② 「西北地域医療提供体制シート（案）」 ③ 新型インフルエンザ等対策実働訓練の実施報告 ④ 特定接種 ⑤ 鳥インフルエンザに関する情報提供 出席者 35名 委員（代理含む）28名、保健所職員7名

### 1-1-7 西北五地域保健医療推進協議会

青森県保健医療計画に基づく地域における保健医療活動を効果的に推進するために、二次医療圏毎に地域保健医療推進協議会を設置し、青森県保健医療計画の試案に反映させるべき地域の課題や取り組み、地域における推進に関する事項を協議する。

協議会には、専門事項を調査協議するために、医療対策部会及び保健対策部会をおいている。

会議名	平成29年度西北五地域保健医療推進協議会並びに医療対策部会・保健対策部会
開催年月日	平成29年9月6日(水)
場 所	プラザマリユウ五所川原
参集者	協議会委員、対策部会員及び事務局計 24名
実施状況	議題 (1) 健康あおもり21(第2次)西北五地域計画について (2) 青森県保健医療計画地域編について

会議名	平成29年度西北五地域保健医療推進協議会並びに医療対策部会・保健対策部会
開催年月日	平成30年2月14日(水)
場 所	プラザマリユウ五所川原
参集者	協議会委員、対策部会員及び事務局計 38名
実施状況	議題 (1) 健康あおもり21(第2次)西北五地域計画の中間評価について (2) 青森県保健医療計画地域編について

### 1-1-8 職場研修の実施状況

保健総室職員の資質向上を目的として実施している。

年月日・場所	テーマ・講師	参加数
H29.7.3(月) H29.7.11(火) 保健総室庁舎	災害発生時初動対応研修 講師 齋藤所長 外	29名
H29.7.12(水) H29.7.13(木) 保健総室会議室	財務事務職場内研修 講師 松山次長 外	23名
H29.7.4(月) H29.7.5(火) H29.7.6(水) 保健総室会議室	PPE着脱訓練 講師 田中課長 外	27名
H29.8.21(月) H29.8.28(月) 保健総室会議室	新型インフルエンザ等対策相談対応基礎研修 講師 田中課長 外	27名